

株主のみなさまへ

2009年12月

平素のご支援、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。2009年度第2四半期(4月-9月)決算(10月30日発表)について以下にご報告いたします。

売上高 2兆9,557億円 (前年同期比 -5,390億円)

営業損益 27億円 (前年同期比 212億円)

当期純損益 -577億円 (前年同期比 -192億円)

円高及び景気後退の影響を受け減収となりましたが、「収益改善に向けた体質改革プログラム」に基づき構造改革を推進し固定費削減等を着実に実行した結果、営業損益は、電子デバイス部門、社会インフラ部門を中心に前年同期比で大幅に改善し、27億円の黒字を達成しました。また、フリー・キャッシュ・フローも、運転資金の改善や、有形固定資産の購入による支出が前年同期と比べ減少したこと等により、前年同期比で3,223億円改善し、705億円のプラスとなりました。

なお、当社は2009年9月末を基準日とする剰余金の配当(中間)について無配(0円)とすることを9月の取締役会において決議いたしました。株主のみなさまに深くお詫び申し上げます。

き
が
は
の
郵
便

上期は営業損益での増益を達成しましたが、下期以降の世界経済の先行きは依然不透明であり、今後の動向を見極める必要があるため、当事業年度通期の業績見通しについては、前回予想(5月8日発表)を変更していません。

2009年度通期連結決算予想

売上高 6兆8,000億円

営業損益 1,000億円

当期純損益 -500億円

通期計画に向けて全社一丸となってあらゆる努力を尽くし、株主のみなさまにお応えすべく頑張りますので引き続きご支援をお願いいたします。

代表執行役社長

佐々木 則夫



お知らせ

剰余金の配当(中間)を見送らせていただきましたため、今回、配当金関連書類を同封しておりませんので、ご了承ください。

ご案内

本通信は、2009年9月末時点での株主のみなさまにお送りいたしますことをご了承ください。

2009年度第2四半期(4月-9月)連結決算概況

	売上高	(単位:億円)
2008		34,947
2009 (年度)		29,557
	営業損益	
2008		-185
2009 (年度)		27
	当期純損益	
2008		-385
2009 (年度)		-577

※米国会計基準の変更により新たに採用された「当社株主に帰属する四半期純損益」を当期純損益として表示しています。

売上高

メモリ、原子力が増収だったものの、円高および景気後退の影響を受け、全部門において減収。

営業損益

デジタルプロダクツ部門は、全体で減益ながら黒字を確保。電子デバイス部門は、メモリの大幅な改善等で全体も大幅に改善。社会インフラ部門は、原子力が増益で、全体も増益。家庭電器部門は、全体で悪化。

当期純損益

営業損益が黒字化するも、事業構造改善費用の発生等により悪化。

※※上記は前年同期比での概況説明です。

決算説明会動画配信中 www.toshiba.co.jp/about/ir/



親展

株式会社 東芝

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

株主のみならず東芝を
つなぐ情報誌

株主通信 2009年冬号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号(証券代行事務センター)
株主名簿管理人 郵便番号 168-0063
事務取扱所 電話 0120-78-6502(フリーダイヤル)

まずこちらを

1 開く

濡れている場合はよく
乾かしてからめくってください

固定費削減状況・進捗

09年度上期は当初計画を上回る2,000億円を削減 (単位:億円)

固定費削減状況	対08年度上期	対計画
デジタルプロダクツ	-440	-190
電子デバイス	-880	-80
社会インフラ	-410	-260
家庭電器	-230	-80
その他	-40	-60
連結計	-2,000	-670
減価償却費・リース料	-370	-350
研究開発費	-350	-30
人員関連費用	-380	-80
広告・販促費	-130	-70
業務委託費	-130	30
業務活動費	-130	-20
賃借料・スペース関連費	-160	-30
製造間接費	-190	0
その他	-160	-120
合計	-2,000	-670

上期での進捗状況(期初計画から670億円の追加削減)をふまえ、
下期は上期と同等レベルの固定費削減をめざします。

「経営方針」に関するホームページアンケートの結果について
9月11日から約1か月間、当社のホームページ上で実施したアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果の概要を
以下のページでご案内しています。

www.toshiba.co.jp/about/ir/jp/enquete.htm

ここに注目

次の時代をつくる新たな注力事業の進展

8月19日 発表 メガソーラー発電(大規模太陽光発電)
プラント受注について

当社は、2011年秋に運転開始予定の中部電力株式会社武豊火力発電所*1敷地内に設置する同社初の事業用メガソーラー発電プラントに、基本設計を含むエンジニアリング全般、主要機器の納入、プラントの建設を含めたプロジェクト全体を一括受注しました。

*1:愛知県知多郡武豊(たけとよ)町



中部電力(株)メガソーラー
たけとよ完成イメージ

9月29日 発表 二酸化炭素分離・回収技術の
パイロットプラント竣工について

火力発電所から排出される二酸化炭素(CO₂)を分離・回収する「CCS*2技術」の実用化を加速するため、パイロットプラントを株式会社シグマパワー有明三川発電所*3内に建設中でしたが同プラントが完成し、10トンCO₂/日規模のCO₂分離・回収の試験を本格的に開始しました。

*2: Carbon dioxide Capture and Storage *3: 福岡県大牟田市



株主通信へのご意見・資料請求

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1 株式会社東芝 広報室
あてにお送りください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おください。

